

研究会報告

第 63 回 東京医科大学循環器研究会

日 時：平成 27 年 12 月 19 日（土）
 午後 2 : 00 ~
 場 所：東京医科大学病院 新教育研究棟
 3 階
 当番世話人：立川総合病院
 循環器内科 岡部 正明

1. 近赤外時間分解分光法を用いた未熟児動脈管開存症の評価

(東京医科大学 小児科学分野)

奈良昇乃助、近藤 敦、廣瀬あかね
 石井 宏樹、中島 隼也、春原 大介
 河島 尚志

未熟児動脈管開存症 (PDA) の適切な管理は早産児の予後改善に重要である。超音波検査は PDA の重症度評価に有効だが、正確な評価には技術を要する。一方、近赤外分光装置 (NIRS) は簡便に組織循環代謝指標の測定ができる。今回、我々は NIRS で得られる組織循環代謝指標と心臓超音波検査から得られる指標との関連の検討を通して、PDA 管理に NIRS を併用することの有用性を報告する。対象は当院で入院管理を行った超早産・超低出生体重児。TRS-20 (浜松ホトニクス社製) を用いて組織循環代謝指標の測定を行った。測定部位は、動脈管近位の血流評価として右上腕、遠位の血流評価として大腿を選択。生後 72 時間までは 24 時間毎に、以後は治療介入前後に測定を行ったところ、組織循環代謝指標と心臓超音波検査で得られる各種指標との間に有意な相関を認めた。NIRS を用いた組織循環評価は、簡便・迅速に循環動態の変化を捉えられる可能性がある。

2. 術前重度の脳合併症を認めた感染性心内膜炎の 1 若年例

(東京医科大学病院 心臓血管外科)

猪野 崇、鈴木 隼、岩堀 晃也
 藤吉 俊毅、室町 幸生、高橋 聡
 戸口 佳代、神谷健太郎、岩橋 徹
 岩崎 倫明、小泉 信達、西部 俊哉
 荻野 均

症例は、20 歳、女性。2015/5/11 に高熱で発症。EBV 肝炎の診断で前医に入院。5/26 に出血性脳梗塞を発症し、心エコーで僧帽弁閉鎖不全と巨大疣贅を認め、IE の診断で当院

へ転院。梗塞部に脳膿瘍を併発し、6/1 に脳室ドレナージ+脳膿瘍排膿ドレナージを施行。また、左後大脳動脈末梢に感染性脳動脈瘤を認め、7/21 に開心術時の破裂・出血防止も兼ねてコイル塞栓術を施行。脳出血の懸念がなくなった 8/12 に僧帽弁形成術を施行した。僧帽弁は P2 と P3 が破壊されており、同部に自己心膜を補填。人工腱索を P2、A2+A3 に縫着。さらに両交連に edge-edge 縫縮を追加し、Physio II ring 28 mm で弁輪を縫縮した。その後の経過は概ね順調で、術後 24 日目に元気に退院した。術前、重度の脳障害を認めた重症 IE の若年女性例に約 4 ヶ月におよぶ集学的治療を行い、無事救命できたので報告する。

3. 当院で経験した冠動脈起始異常について

(戸田中央総合病院 心臓血管センター)

高橋 梨紗、渡邊 暁史、伊藤 亮介
 土方 伸浩、中山 雅之、佐藤 秀明
 木村 揚、湯原 幹雄、竹中 創
 小堀 裕一、内山 隆史、宮川 弘之
 鶴田 亮

30 歳代男性。睡眠時無呼吸症候群を既往に持つ患者。就寝中に 10 分程度の胸痛を自覚し当科受診した。精査より冠動脈に器質的狭窄ないが、右冠動脈起始異常 (左 Valsalva 洞起始) を認め、これが胸痛の原因と診断した。当院心臓外科で冠動脈起始部のスイッチング術を受け、胸痛は消失した。今回、冠動脈起始異常症による狭心症症例を経験したので、若干の文献的考察を加え報告する。

4. 発作時 ST-T 変化を伴わず QT 延長を来す冠攣縮性狭心症が疑われる 1 例

(西東京中央総合病院 循環器科)

藤吉 俊毅、末定 弘行、伊藤 茂樹
 橋本 雅史、雨宮 正、波多野靖幸

症例は 58 歳男性医師。本年 7 月 25 日午前 5 時 05 分診察中より前胸部～心窩部圧迫感が出現したため午前 5 時 55 分に心電図をとったが、ST-T 変化は認められなかった。その際の QTc は 0.492 であった。ISDN を 2 吸入した後胸部造影 CT を行ったが、大動脈解離、肺塞栓を示唆する所見は認められなかった。CT 撮影中に症状は消失し、血液検査では GOT の軽度の上昇のみであった。翌 26 日 8 時歩行中、9 時 30 分乗用車の後部座席に座っている際にも 30 分持続する胸部絞扼感があった。27 日に心電図、血液検査を再検したところ、心筋逸脱酵素は正常で心電図変化も認められなかった。冠攣縮性狭心症を疑ってベニジピン 4 mg を服用していたが、8 月 22 日午前 3 時再度胸部絞扼感が出現したため心電図をとったところ、やはり ST-T 変化はみられなかったが、QTc は 0.506 と延長していた。ISDN 吸入にて症状は消失し、